

血清尿酸値は6.0mg/dL以下に維持することが大切です

Q 高尿酸血症が持続するとどうなるの？

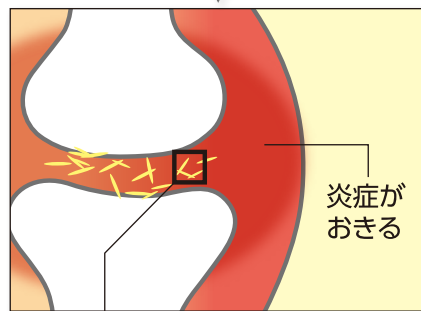
A 高尿酸血症が持続すると関節内に尿酸塩の結晶が析出・沈着します。尿酸塩の結晶は痛風発作の原因となります。
(参考 高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版)

関節内に析出・沈着した尿酸塩結晶



JF Baker, et al: Arthritis Rheum 62: 895, 2010

尿酸値の急激な変動や物理的
刺激で関節に沈着していた尿酸
塩結晶が剥がれ落ちる



炎症が
おきる



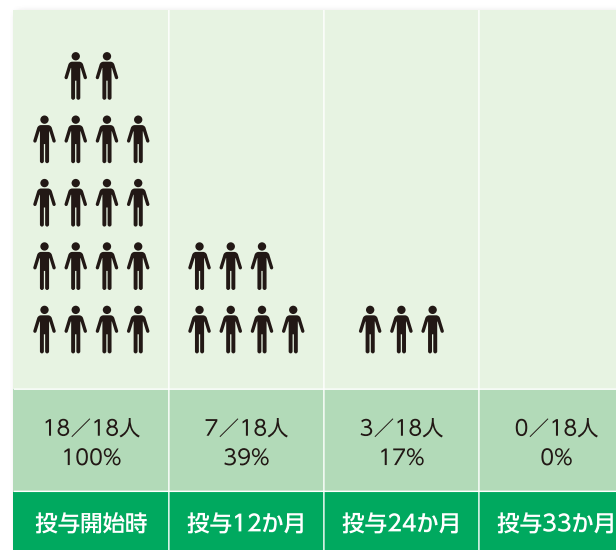
剥がれ落ちた
尿酸塩結晶

Mylona et al. Arthritis Research & Therapy 2012, 14:R158より改変

Q 高尿酸血症はどれくらいの期間治療しないと
いけないの？

A 尿酸値を6.0mg/dL以下にコントロールして33か月で
痛風発作の原因となる尿酸塩結晶の消失が報告されて
います。

関節内に尿酸塩結晶を有する患者数の推移



目的

尿酸値を6.0mg/dL以下にコントロールした際の関節腔内の尿酸塩結晶が消失するまでの期間について検討した。

方法

滑液中に尿酸塩結晶が認められ、尿酸治療を開始した18名の患者を対象として、3か月ごとに関節穿刺を実施し滑液を回収した。滑液中に尿酸塩結晶が存在するか確認し、顕微鏡400視野中に含まれる尿酸塩結晶の平均個数を計測、尿酸塩結晶が消失するまでの期間を検討した。

Eliseo P, et al: Ann Rheum Dis 66: 1056, 2007より作図

なぜ、6.0mg/dL以下を
目指すの？

体内での尿酸の溶解限界よりも低い濃度である6.0mg/dL以下にすることで、体内にたまった尿酸の結晶が溶け始めます。尿酸が体内で結晶にならないようにするためにも、6.0mg/dL以下を維持することが大切です。

高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版

高尿酸血症治療薬の投与方法

